

単  
元  
名

～詩を楽しもう～

# 雪／ゆき／雪

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 3 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・自分が気に入った詩を集めるため、テーマを決めて詩集を読むことができる。
- ・言葉の響きやリズムなどから様子を想像し、それが表れるように音読することができる。
- ・詩集を作り、友だちと読み合っ、感想を交流することができる。

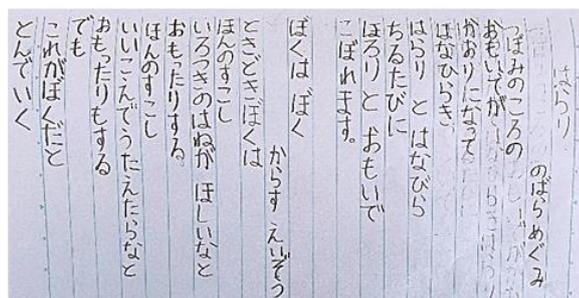
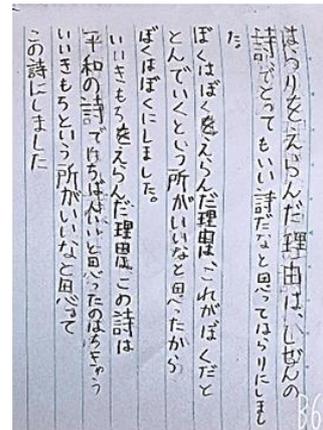
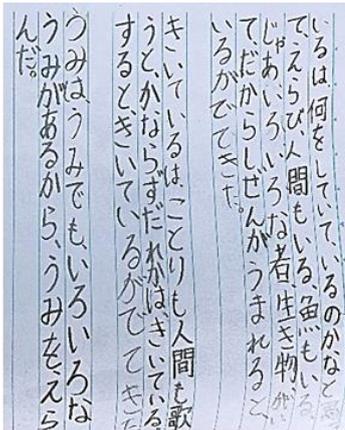
○ 学校図書館活用のポイント

- ・児童が自ら決めた観点で詩を探して集める活動を設定する。
- ・児童が多くの詩を読むことができる環境を整える。

○ 学習の展開（全4時間）

第1次

- ・言葉の響きやリズムなどから様子を想像し、それが表れるように音読する。
- ・お気に入りの詩集を作るためにさまざまな詩集を読み、観点を決めて詩を選ぶ。
- ・集めた詩と、その詩を選んだ理由を発表する。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・図書室にある詩集の中から、児童が気に入った詩を選ぶという活動を行ったので、児童がたくさん詩に触れることができた。 ・詩を集める活動の前に、教科書に載っている、「雪」をテーマにした詩について学んだ。同じテーマでも、その詩を書いた人によって表現が違うこと、雪を表現する言葉がたくさんあることを知ることができた。
② 課題	・図書室にある詩集の中には内容の難しいものもあり、児童が理解するのに少し時間がかかることもあった。 ・詩集がたくさんあり、いろいろな詩に触れるという意味では成果はあったが、詩がたくさんあるため、共通したテーマを探し出すことができない児童もいた。テーマがわかりやすいように種類ごとに詩集を分ける等の手立てがあれば良かった。
③ 児童の感想・ふりかえり	・前に谷川俊太郎さんの絵本を読んだことがあって、その絵本がとてもいい本だったから、今回も谷川俊太郎さんの詩を集めました。 ・自然の詩で、とってもいい詩だなと思ったので、「はらり」を選びました。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・詩を読む活動だけで終わるのではなく、選んだ詩を視写したり音読したり、なぜその詩を選んだかの理由を発表する機会を設定する等の言語活動を取り入れた。
---